

人権尊重の視点に立った学校づくり

平成25・26年度文部科学省・熊本県教育委員会指定、平成25年度荒尾市教育委員会委嘱
平成26・27年度荒尾市教育委員会指定 荒尾市立平井小学校の取組から

学校全体として人権尊重の視点に立った学校づくりが組織的かつ効果的に進められている実践事例

研究の全体概要

【研究主題】 笑顔まんかい平井っ子の育成

～自他を大切にすることの育成を目指した学校づくりを通して～

平井小学校では、児童の実態を踏まえて「人権教育を通じて育てたい資質・能力」について、「具体的な児童の姿」を設定することで全職員の共通理解を図り、実践されています。そして、教育活動全体を「人権が尊重される学習活動づくり」「人権が尊重される人間関係づくり」「人権が尊重される環境づくり」の3つの視点から見直し、相互に関連させて「人権教育を通じて育てたい資質・能力」の育成を図る取組を行われました。

1 人権教育を通じて育てたい資質・能力（重点）と具体的な児童の姿の設定

- ・「人権教育を通じて育てたい資質・能力と求める児童の姿一覧表」の作成。
- ・資質・能力の重点項目化と「具体的な児童の姿」の設定。

児童の実態に応じて特に力を入れて取り組んでいくべき資質・能力を重点項目と定め、共通理解・共通実践を図るために、それぞれの資質・能力について児童の発達段階に応じた「具体的な児童の姿」を下学年・上学年において設定されているところに工夫が見られます。

2 人権教育を通じて育てたい資質・能力の人権教育諸計画への位置付け

- ・教育活動の3側面（知識的側面、価値的・態度的側面、技能的側面）からの見つけ直し。
- ・各教科・領域、諸活動における「人権教育を通じて育てたい資質・能力」の設定。
- ・人権教育全体計画や人権教育年間指導計画への位置付け。

各教科・領域、諸活動における「人権教育を通じて育てたい資質・能力」を設定され、人権教育全体計画や人権教育年間指導計画に位置付け、教育活動全体を通して育成されているところに工夫が見られます。

3 人権を大切にすることを視点をとり入れた授業の実践

- ・「人権が尊重される授業づくりの視点」を参考に、大切にすべきキーワードの一覧表作成。
- ・「人権を大切にすることを視点」を取り入れた授業実践。

「人権を大切にすることを視点」を取り入れた授業を、「人権教育を通じて育てたい資質・能力を明確に位置付け、『人権が尊重される授業づくりの視点』を取り入れた授業である」と定義付けし、共通理解のもと毎時間の授業の中で実践されたところに工夫が見られます。

1～3のように、平井小学校では、実践を通して点検・評価するシステムを構築するなど、PDCAを大切にされた取組をされています。各学校におかれましては、研究指定校の実践に学び、「人権尊重の視点に立った学校づくり」の参考にさせていただきたいと思っております。

※平井小学校の実践は、文部科学省のホームページに「平成26年度人権教育に関する特色ある実践事例」として、県教育委員会のホームページに「人権教育推進資料」として掲載予定です。

【問い合わせ先】 人権同和教育課 096-333-2702